

鶴見祐輔 つるみ ゆう輔 政治家、著述家。明治十八年一月二十日群馬縣生れ、

昭和四十八年十一月一日没（八十一歳）。明治四十（二年）東京帝國大

學法科大學政治學科卒。鐵道院勤務、昭和二年衆議院議員（當選四回）、

二十八年參議院議員、翌年厚相。大正十二（五年）排日のアメリカ渡り各
地を遊説。後藤新平の女婿。

著書『歐米各々の印象』（大正十年十一月）『十五百實業之日本社』、

『米國々民性と日米關係の將來』（大正十一年五月）『十五百岩波書

店』、『濠洲破環期の支那』（大正十二（四年）四月）『二十百鐵道時報局』、

『二都物語（巴里 倫敦 紐育）』（大正十二（二年）五月）『十八百丁未出版

社』、『鶴見祐輔氏大講演集』（大正十二（二年）九月五日）『日本雄辯會編

刊』、『旋風』（共作、大正十五年十一月二十八日東京朝日新聞發行

所）、『經濟隨想』（合著・東京朝日新聞經濟部編、昭和二年五月七

日）『日本評論社』、『北米遊説記―附米國山莊記』（昭和二年七月七日

）『日本雄辯會』、『善後第一戰陣我等斯く戦へり』（合著、昭和二年二月

八日朝日新聞社）『朝日民衆講座』（）、『通俗講話・第一卷』（合著・

日本放送協會關東支部編、昭和二年八月十五日）『日本ラヂオ協會、模本

書房發賣「ラヂオ講演」）、『英雄待

望論』（昭和二年九月）『二十百日本雄

辯會講談社』、『最後の舞踏』（昭和

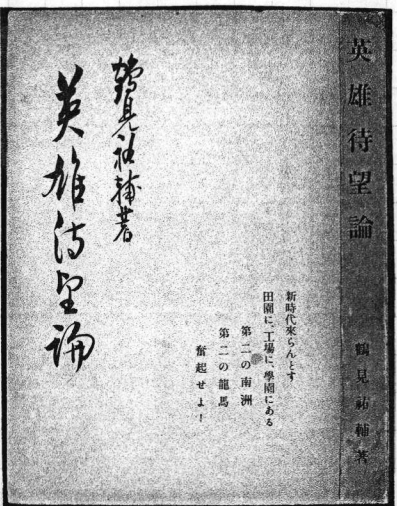
四年十一月）『日本雄辯會講談社』、



『日本と世界』（昭和

四年十一月五日）『大

『日本兒童文學』（）、『自由人の旅行記』（昭和五年



英雄待望論

鶴見祐輔著

新編序文あり

田園と工場に學問がある

第二の南洋

第二の龍馬

新編せし

鶴見祐輔著

英雄待望論

- 二月一日日本評論社)、 『太平洋問題(一九一九年京都會議)』 (合著・新渡谷稲造編、昭和五年九月十一日太平洋問題調査會、丸善株式會社發賣)、 『ナポレオン』 (昭和八年八月五日大日本雄辯會講談社)、 『歐米大陸遊記』 (昭和八年六月十五日大日本雄辯會講談社)、 『膨脹の日本—新英雄論』 (昭和十年五月十八日大日本雄辯會講談社)、 『英雄天才史傳』 (ロビスターウヅ、昭和十年七月二日、ロビンソン、九月五日、ロヂスレリー、十一年八月二十五日大日本雄辯會講談社)、 『風雲の地 堀エチオピヤ』 (駒井重次共著、昭和十年九月十日ヤシタ書房)、 『讀書二昧』 (昭和十一年六月十四日大日本雄辯會講談社)、 『學生と社會』 (合著・河合榮治郎編、昭和十二年八月二十八日日本評論社)、 『北極光』 (昭和十五年七月十五日春陽堂書店)、 『民族外交の類』 (合著・竹内夏積編、昭和十五年七月十五日岡倉書房)、 『新英雄道』 (昭和十六年二月八日大日本雄辯會講談社)、 『太平洋上の日本問題』 (澤田謙共著・太平洋協會編、昭和十六年四月二十日青年書房)、 『ポプルターノ英雄傳』 (譯、武將の卷、昭和十七年八月五日、雄辯家の卷、九月十日、義人の卷、十月五日、聖雄の卷、十一月二十五日第一書房)、 『南方旅行記』 (合著・日本放送協會編、昭和十七年十一月二十日日本放送出版協會)、 『傳記 下人の肖像畫』 (合著・武内俊二編、昭和二十一年八月十五日雄鶴社)、 『心の窓は開く』 (昭和二十一年十一月十五日太平洋出版社)、 『友』 (昭和二十二年六月一日太平洋出版社)、 『成城だより』 (一—冬來りなば、昭和二十二年七月二十五日、二—自由への闘心、十一月二十日、三—夢を抱いて、二十四年一月十五日、四—文明の行く先、二月二十日、

- 5-1 永遠の飾・四月、千五百太平洋出版社）、『最後の舞踏』（昭和二十二年七月、千五百太平洋出版社）、『飾』全一冊（上巻・昭和二十二年十一月、千五百、下巻・二十五年太平洋出版社）、『ナホレオ』（全一冊）（上巻、下巻・昭和二十四年二月、千五百太平洋出版社）、『夢』（昭和二十四年二月、千五百太平洋出版社）、『愛』（昭和二十四年六月、千五百太平洋出版社）、『母』（昭和二十四年十一月、千五百太平洋出版社）（昭和二十四年七月、千五百太平洋出版社）、『子』（昭和二十六年四月、千五百太平洋出版社）、『合著・社會思想研究會編、昭和二十六年四月、千五百社會思想研究會出版部）、『雄辯士の講』（昭和二十六年五月、千五百太平洋出版社）、『新英雄傳論』（昭和二十六年七月、千五百太平洋出版社）等。